

いつか やがて きっと



3月14日の夜、BS-TBSで「左手一本のシュート」というドラマが放映されたけど見た人はいま
すか？見ていない人のためにちょっと紹介すると、高校入学直前に突然の脳内出血で倒れて右半身麻
痺の後遺症を負った、日川高校男子バスケットボール部の田中正幸君が、3年にわたる辛いリハビリ
を乗り越えて、2010年6月12日の高校生活最後の公式大会インターハイ予選に出場して、利き手で
はない左手一本でシュートを決めたという実話をもとにしたドラマです。この話は当時朝日新聞の全
国版で紹介され様々なメディアで取り上げられましたが、あれから10年近くがたち、私の記憶の中
でも少々薄らいできていたところでした。

今回このドラマを見て改めて思ったことは、正幸君がシュートを決めたことは決して奇跡ではないということです。
なぜなら、当時私は日川高校に勤務していたので、彼が部活動の時に練習の合間を見ては一人黙々と隅のリングに向
かってシューティングをしている姿を見ていたからです。ドラマの中でも描かれていましたが、山梨県の中学選抜の
エースとして活躍していた彼が、バスケどころか日常生活もおぼつかないような状況に追い込まれながらあそこまで
回復することができたのも、バスケットが大好きで「いつか やがて きっと 絶対にコートに立つ」という強い気持ち
があったからこそ、そしてその時がいつ来てもいいように毎日コツコツと練習に取り組んでいたからでしょう。毎日
のひたむきな努力は、決して偶然起きたかのような奇跡という言葉で片づけてはいけない、そしてたとえ先が見えな
かったとしても簡単に投げ出してはいけないということを思い出させてくれる素晴らしいドラマでした。

このドラマの最後に、正幸君の現在の姿がちょっと紹介されました。バスケに一区切りをつけ、水泳でのパラリン
ピック出場を目指して頑張っている姿、一社会人として東京で立派に自立している姿を見て、彼にかかわったものの
一人として本当に嬉しく思いました。「いつか やがて きっと」夢を実現するまで諦めない姿勢、今のみんなにも
ぜひ参考にしてもらいたいと思います。

保護者のみなさまへ

年度末のお忙しい時期にコロナウイルスの感染拡大に対する対応ということで臨時休校をお願いすることになり、御心配や御迷惑をおかけし大変申し訳ございませんでした。本日、当初予定の日程を縮小して何とか年度末
終業式を実施することができました。振り返ってみると今年度（特に後期）は、英語外部検定試験の導入見送り
などびっくりさせられるような出来事が次々と起こった年でした。今年受験生には少なからずその影響があっ
たように思います。さて、来年度はいよいよ勝負の年、受験生が落ち着いて受験に集中できるような平和な日常
を1日も早く取り戻すことを祈りつつ、お子様の進路実現に向けて我々教職員一同、さらに気を引き締めて取
組んでいきたいと思っておりますので、引き続き御理解と御協力をよろしくお願いいたします。1年間、誠にありが
うございました。

2年次主任 秋山 裕

4月当初の予定

※暫定の予定です。コロナウイルスの影響が長引く場合は変更もあります。

- * 4月7日(火) 始業式、大掃除(体育着必要)
- * 4月8日(水) 入学式 ※3年次生は式典に関わる者以外は家庭学習日となります。
式典に出席するものは服装・頭髪等に注意してください。
- * 4月9日(木) 学びの基礎診断：学力テスト(国語、数学、物理/生物、地歴)、年次集会
※この日から1日です。
- * 4月10日(金) 学びの基礎診断：学力テスト(英、化学)、LHR、対面式
- * 4月13日(月) 身体計測、新入生歓迎会など
- * 4月14日(火) 授業開始
- * 4月18日(土) 鳳凰祭実行委員会・HR長合同会議

